

第1回 中東遠地域豪雨災害減災協議会 議事要旨

日時：平成29年1月31日（火） 10:00～11:30

会場：袋井土木事務所 3階大会議室

出席者：構成員 磐田市長・袋井市長・掛川市長・菊川市副市長（市長代理）・御前崎市長・森町長・静岡地方気象台長・浜松河川国道事務所長・危機管理部理事（防災対策担当）・危機管理局副局長（局長代理）・交通基盤部河川砂防局長・袋井土木事務所長
事務局 交通基盤部河川砂防局河川企画課・土木防災課・袋井土木事務所・危機管理部危機対策課・西部危機管理局

1. 挨拶

2. 議事

- (1) 中東遠地域豪雨災害減災協議会設立の背景、目的及び規約について
- (2) スケジュールについて
- (3) 現状の水害リスク情報や取組状況の共有
- (4) 減災の目標及び取組について

3. 議事概要

- (1) 豪雨災害減災協議会設立の背景、目的及び規約について
豪雨災害減災協議会設立の背景、目的を設立趣意書により説明。規約について確認し、承認を得た。
- (2) 豪雨災害減災協議会の運営スケジュールについて説明
- (3) 現状の水害リスク情報や取組状況の共有について説明
- (4) 減災の目標及び取組について説明
今後5年間で達成すべき減災目標について、中東遠地域における大規模な水害に対し、「逃げ遅れによる人的被害をなくすこと」「氾濫発生後の社会機能を早期に回復すること」とし、また各目標達成に向けた取組について説明し、承認を得た。

【出席者の主な発言内容】

- ・ 内陸部の洪水対策を講じているようであるが、台風時に特に海に面したところでは、台風が接近すると海面が上昇し、波が河川を1km以上上流まで遡上する。その時に集中豪雨等が重なると、河川の水が吐けないので、中流域も大事だが、下流域も堤防の嵩上げなど対策を講じるなどの配慮をいただきたい。

- 啓発の仕方について、5市1町の首長も職員も含めて頑張っていると思うが、その啓発は簡単に推進されるが、認識が深まらないところにジレンマを感じる。避難指示や避難勧告とはこういう情報であると繰り返し県民に対して啓発していくことを、共同歩調でやっていくことが重要である。
- 目標に対する取組内容について、県から市町へ情報収集要員を派遣するとあるが、被害が起こりそうなとき、具体的に県のどの部局から市のどの部局に人を送るのかということが、情報収集ということだけだと、極端なことを言えば市町にとってプラスにならない。
- 高解像度降水ナウキャストというサイトが気象庁ホームページにあり、250mメッシュの細かなもので、地図の拡大や、鉄道や道路の表示も可能であるため活用してほしい。
- 総論として理解していると思うが、省庁から矢継ぎ早に情報が降りてくる。それはそれで頑張らなくてはならないと思うが、全体をトータルしたものが基礎自治体の役割である。五月雨式に降りてきたものは、簡単に実務的に機能するまでタイムラグがある。そういうものを理解してもらいながら、一緒になって歩いて行ってもらえればというのが本音である。